

- 1 題材名 私はだれクイズをしよう。 - Where do you live? -
- 2 目標
 - 英語を使っの会話や、楽しいゲームを通して進んで友達と関わろうとする。
 - クイズやゲームを通して“Where do you live?” “I live in~.”の表現やこれまでの活動で覚えた英語表現を使っ友達との会話に慣れ親しむ。
 - 日本語のどこ・何・だれと同じように、英語にも Where・What・Whoなどの疑問詞があることに気づく。
- 3 主な言語材料
Where do you live? I live in~. Where are you from? I'm from~. What do you like?
I like ~. Who am I?
- 4 指導計画(全3時間)
 - 第1時 ゲームを通して“Where do you live?” “I live in~.”の言い方に慣れる。
 - 第2時 私はだれクイズをつくる。
 - 第3時 私はだれクイズを出し合うなかで“Where do you live?” “Where are you from?” “What do you like?” “Who am I?”などの英語表現を使う ----- 本時
- 5 指導上の立場
 - (1)児童の実態
本学級の児童は、毎朝のTV英語の時間を楽しみにしており、英語の歌やクイズを楽しんだり、フレーズをまねて発音したりしている。また、英語活動の時間も簡単な英語表現を使っゲームに友達と楽しく取り組み、おおむね英語に興味をもって取り組んでいる。
しかし、英語で友達に思いを伝えることに自信が持てず、声が出ない児童や活動に消極的な児童もいる。
そこで、チャンツのリズムにのって朝の健康観察を英語で行ったり、朝の会や帰りの会で英語のCDを聞いたりしている。結果、少しずつ英語に親しみ楽しく活動できる児童が増えてきた。
また、これまでに“What do you like?” “I like~.”や“Where are you from?” “I'm from~.”などの言語材料を使っ活動を行っており、英語で伝え合うことにも少しずつ慣れてきている。
 - (2)題材について
児童はこれまでに“Where are you from?”に慣れ親しんでいるので、本題材の中心言語材料“Where do you live?”の表現には容易に慣れ親しむと考えた。
そこで、まず第1時では、“Where do you live?” “I live in~.”の言い方に慣れ親しむためゲーム等を取り入れながら活動していく。そして第2・3時ではこれまでに覚えた英語表現を使っ私はだれクイズをつくり、友達と楽しく紹介し合う活動を考えた。
 - (3)指導のポイント
本題材では、発音や言い方に自信をもつことができるようにするためのチャンツの時間を確保する。また、リズムに合わせて動作を取り入れる工夫をし、楽しくフレーズに親しむことができるようにする。また、リズムに乗っている児童を称揚したり、お互いの良いところを認め合ったりして、楽しく意欲的に活動できるようにする。
第1時では、児童が学級活動や遊びの中で行っているゲームを繰り返し取り入れることで、自然なかたちで楽しみながら担任や友達と英語でのコミュニケーションをとれるようにする。
第2・3時では、ひっばると答えが瞬時に出てくる「変身カード」を使っ私はだれクイズを行うことで、児童がこれまでに覚えた英語表現を総合的に使っ友達と楽しく会話できる喜びを感じられるようにする。
また、授業中に児童の活動や発話を称揚したり、友達のよかったところを認めあったりすることにより、英語が楽しいと感じ、英語に自信をもつことができるように配慮する。
- 6 本時の展開 (第3時)

目標

○ 私はだれクイズを通して、進んで友達と関わろうとする。

	○ 私はだれクイズを出し合うなかで，“Where do you live?” “Where are you from?” “What do you like?” “Who am I?” などの英語表現を使って友達と楽しく会話しようとする。		
活動過程	児童の活動	教師の支援と工夫	準備物
1 ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> • Hello song を歌う。 • The Wiggle Book Exercise を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌や踊りで楽しくリラックスした雰囲気づくりをする。 ○ 親しんだ歌やジェスチャーで友達とコミュニケーションをとりやすくする。 	MD
2 めあて	<ul style="list-style-type: none"> • めあてを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあてを提示することで、見通しをもって活動できるようにする ○ コミュニケーションの4つのポイントを確認することで、コミュニケーションを取るときに大事なことを意識して活動できるようにする。 <p>Big voice Eye contact Smile Try</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クイズをどのように進めるのか、スキットを見せることにより、クイズの進め方をとらえやすくする。 	BEST カード
これまで覚えた英語を使って私はだれクイズをしよう			
3 親しむ	<ul style="list-style-type: none"> • チャンツのリズムで練習する。 	<p>中心表現</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Where do you live? I live in~. Where are you from? I'm from~. What do you like? I like ~. Who am I?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変身カードを実際につかいながら、リズムに合わせて中心表現のチャンツをリードすることで、流れをつかみやすくする。 	MD
4 慣れる	<ul style="list-style-type: none"> • グループで練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで「私はだれクイズ」を練習する時間を確保する。 「私はだれクイズ」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>出題者が I live in~. I'm from~. I like ~. の問題が書かれたカードをしめす。他のメンバーは Where do you live? Where are you from? What do you like? とたずねる。出題者は順に問いに答えて最後に Who am I? と言い、他のメンバーが答えた後でカードの両端を引っ張り、答えを見せる。</p> </div>	クイズ カード
5 使う	<ul style="list-style-type: none"> • 友達とクイズを紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進んで友達と関わり会話している児童を称揚することで自信をもって活動できるようにする。 ○ 英語表現を思い出せない児童や不安で動けない児童には “Help!” サインを出すように伝え、教師がそばで一緒に発話し抵抗感を少なくする。 	
6 振り返る	<ul style="list-style-type: none"> • 振り返りカードを書く。 • Good bye song を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が振り返りカードを書くことにより、本題材での自分のがんばりを振り返ることができるようにする。 	振り返り カード MD